

5. 環境配慮とコープの環境に対する考え方

コープは「持続可能な社会」の実現に向けた、より環境に配慮したライフスタイルを視野に入れ、商品調達・開発・普及・廃棄における環境負荷の低減と、商品選択・商品活動の助けになる環境主張の追求をすすめます。

環境主張は具体的でわかりやすい表現が求められますが、便宜的に環境配慮事項全体を表す言葉として統一して用います。

コープの環境主張の目的は

- 環境に配慮した商品の特徴を具体的に組合員に知らせます。
- 環境に配慮した商品の組合員の選択を容易にできるようにします。
- 商品使用時、廃棄物による環境負荷を減らす組合員の取り組みを助けます。

(1) 環境に配慮した新しいライフスタイルの確立・改善につながる商品の取り組みをすすめます。

- ① 資源の採取から廃棄まで、商品のライフサイクルにおける環境負荷を考慮します。
- ② どの分野において環境配慮されているか、具体的でわかりやすい環境主張を掲げます。

(2) 環境配慮の区分は以下の視点ですすすめます。

- ① 低炭素（省エネルギー、省資源）及び再生可能エネルギーの活用推進
- ② 化学物質（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染物質）の排出削減
- ③ 資源循環（リデュース、リユース、リサイクル）の推進
- ④ 生物多様性の保全

コープは、「2020年に向けたコープの環境基本政策（以下、環境基本政策）」の中で、温室効果ガスの総量削減、商品事業の環境配慮の方向、廃棄物削減・ゼロ化をめざした取り組み、組合員・地域の環境保全活動の取り組み、地域諸団体・行政との関わり、環境関連法令の順守について明確にしました。

この環境基本政策に基づき、事業や活動で環境に配慮した取り組みを広げ、持続可能な社会への貢献がすすむことをめざします。

参考資料

2011. 3. 21 2020年に向けたコープの環境基本政策